

#### 4 . 環境保全行動の実態と今後の実施意向（問4）

環境基本計画では、多様な社会経済活動の中において、各主体が環境保全に関して担うべき公平な役割分担の下で、自主的積極的な行動への参加が期待されている。

今日、国民の日常生活に起因する環境負担が増大する中であって、国民の生活様式を持続可能なものに転換していくことが必要であるが、特に、地球温暖化問題、廃棄物・リサイクル問題や、閉鎖性水域の富栄養化問題、交通公害問題、近隣騒音問題などのように個人の行動が直接に環境負荷の削減に結びつく分野においては、個人の行動による直接的な効果が期待されている。

本章は、まず、生活者の環境保全行動を「国民の取組」の視点で分類し、その実態と今後の意向を分析し（4-1）、調査内容に沿って、環境保全行動全体の実施状況と実施意向等を詳細に分析する（4-2～4-4）。

##### 4 - 1 国民の取組としての環境保全行動

まず、「国民の取組」の領域と環境保全行動種類の対応を示す。

【図表 4-1-1】環境保全行動の実態（全体）

分類		項目
人間と環境と関わりについての理解		1. 訪問地では自分の出したゴミで汚さないように気をつけている 2. 観光・余暇活動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている 3. 余暇には、自然とふれあうように心がけている
日常性生活に伴う環境への負担の低減	再生紙などの環境への負荷の少ない製品やサービスの選択	4. 再生紙などのリサイクル商品を購入している 5. 物を買うときには環境への影響を考慮してから選択している 6. 地球にやさしいエコマーク等のついた商品を購入することを心がけている 7. 買い物の際は、製品の成分表示をチェックして選んでいる 8. 買い物の際、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている 9. 使い捨て商品はなるべく買わないようにしている 10. 物は修理して長く使うようにしている
	不要不急の自家用乗用車使用の自粛、節電などによる省エネルギー	11. 日常生活で節電に気をつけている 12. 冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている 13. 省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している 注1) 運転する際には、不要なアイドリング、空ぶかし、急発進などをしないように気をつけている 14. 外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩、自転車や電車等の公共交通機関などを利用している
	洗剤の適正な使用などの生活廃水対策	15. 日常生活で節水に気をつけている 16. 洗剤使用の適正化に努めている
	ゴミの減量化、リサイクルのための分別収集への協力	17. 日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている 18. 新聞・雑誌は古紙回収に回している 19. ゴミは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにしている 20. ペン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している 21. 不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルに回している
環境保全活動への参加	地域のリサイクル活動、緑化活動や環境美化活動への参加などによる地域の環境保全	22. 地域のリサイクル活動に参加している 23. 地域の緑化活動に参加している 24. 地域の美化活動に参加している
	民間団体の活動参加や支援を通じ地球環境保全の取組に参加	注2) 民間団体の環境保全活動に参加したり接したことがある 注3) 金銭や物品の寄付をしたことがある
国、地方今日今日団体が実施する環境保全施策に協力		25. 国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している
その他		26. 環境に対して良いと思うことを人に勧めたり、広めたりしている

注) 1. 問 4-5(2)の質問項目

2. 問 6-1 の質問項目

3. 問 6-1 の選択肢 4 の質問項目

次に、環境基本計画の中で、国民に期待される取組の分類ごとに結果をみると以下の通りである。

#### 人間と環境とのかかわりについての理解

訪問地での環境配慮は定着しているが、「余暇には、自然とふれあうように心がけている」の実行率（4段階の回答のうち、「いつも行っている」「だいたい行っている」の合計）は35%にとどまっている。この実行率は前回調査よりも5ポイント低下している。

#### 日常生活に伴う環境への負荷の低減

実行率が高かったのは、

- ・「運転する際には、不要なアイドリング、空ぶかし、急発進などをしないように気をつけている」(93%)
- ・「ゴミは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにしている」(90%)
- ・「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」(86%)
- ・「新聞・雑誌は古紙回収に回している」(78%)

などである。また、実行率が50%前後のものとしては、

- ・「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」(53%)
- ・「省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している」(53%)
- ・「洗剤使用の適正化に努めている」(54%)

などがある。一方、実行率が低かったのは、

- ・「不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルに回している」(25%)
- ・「地球にやさしいエコマークなどのついた商品を購入することを心がけている」(30%)
- ・「物を買うときは環境への影響を考慮してから選択している」(31%)
- ・「買い物のとき、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」(32%)

などである。

前回と比較すると、多くの実行率が低下する中で、「運転する際には不要なアイドリング、空ぶかし、急発進をしないように気をつけている」の実行率の低下が7ポイントと特に大きくなっている。

#### 環境保全活動への参加

地域リサイクル活動、美化活動、緑化活動への参加はいずれも2割以下の実施で、その傾向は前回と変わっていない。しかし、「環境保全活動に参加したことがある」の実行率は52%、「金銭や物品の寄付をしたことがある」の実行率は23%を示している。

国、地方公共団体が実施する環境保全施策に協力  
実行率は17%で、前回よりも3ポイント低下した。

【図表 4-1-2】環境基本計画に掲げられた「国民の取組」に関する環境保全行動の実施状況

「国民の役割」による分類	環境保全行動の種類	実行率(%)			
		原則として「いつも行っている」	「だいたい行っている」の合計		
人間と環境とのかかわりについての理解	訪問地では自分のゴミで汚さないように気をつけている	89	88		
	観光・余暇活動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている 余暇には、自然とふれあうように心がけている	86	87		
日常生活に伴う環境への負荷の低減	再生紙などの環境への負荷の少ない製品やサービスの選択	再生紙などのリサイクル商品を購入している	35	40	
		物を買うときは環境への影響を考慮してから選択している	41	45	
		地球にやさしいエコマークなどのついた商品を購入することを心がけている	31	33	
		買物の時は、製品の成分表示をチェックして選んでいる	30	31	
		買物の時、買物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている	39	38	
		使い捨て商品はなるべく買わないようにしている	32	30	
		物は修理して長く使うようにしている	38	37	
		物は修理して長く使うようにしている	58	61	
	不要不急の自家用乗用車使用の自粛、節電などによる省エネルギー	日常生活で節電に気をつけている	冷暖房の使用に関してエネルギーの節減に心がけている	69	66
			省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している	69	67
			運転する際には、不要なイドリング、空ぶかし、急発進等をしないように気をつけている(*)	53	52
			外出時は自動車を使わず公共交通機関等を利用している	93	36
洗剤の適正な使用などの生活排水対策	日常生活で節水に気をつけている	洗剤使用の適正化に努めている	62	62	
		洗剤使用の適正化に努めている	54	51	
ごみの減量化、リサイクルのための分別収集への協力	日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている	新聞・雑誌は古紙回収に回している	53	52	
		ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている	78	78	
		ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している	90	91	
		不用品をバザー、フリママーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルに回している	86	87	
環境保全への参加	地域の町内会活動、緑化活動や環境美化活動への参加などによる地球の環境保全	地域のリサイクル活動に参加している	16	17	
		地域の緑化活動に参加している	11	11	
		地域の美化活動に参加している	19	22	
	民間団体の活動参加や支援を通じ地球環境保全の取組に参加	環境保全活動に参加したことがある(*)	52		
	金銭や物品の寄付をしたことがある(*)	23			

■平成14年度(今回) N=1211  
□平成13年度(前回) N=1248

同 地方公共団体が実施する環境基本計画に掲げられた「国民の取組」に関する環境保全行動の実施状況  
注) \*印のものは、前回の調査と設問が異なる

## 4 - 2 環境保全行動全般

### 4-2-1 現在の実施状況

環境保全行動のうち、「個人」で対応できるものについては実行率が高い（ゴミ出しや資源物の分別排出等のルール化されたもの、節電・節水等の金銭的な負担に関わるもの）。また、民間団体の活動参加や支援を通じた活動は高まりつつあるが、「地域」や「国・自治体」主導での行動は実行率が低い。

ここではまず、環境保全行動全体を通じた実行率をみることにする。環境保全行動を「どの程度行っているか」という質問に対して、「いつも行っている」または「だいたい行っている」と回答した割合（「実行率」）が70%以上の項目は以下のとおりである。

#### A. 実行率70%以上の項目

- ・ 「自動車を使用する際には、不要なアイドリング、空ぶかし、急発進などをしないようにしている（93%）」
- ・ 「ゴミは地域のルールにしたがってきちんと分別して出すようにしている」（90%）」
- ・ 「訪問地では自分の出したゴミで汚さないように気をつけている」（89%）」
- ・ 「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」（86%）」
- ・ 「観光・余暇活動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている」（86%）」
- ・ 「新聞・雑誌は古紙回収に回している」（78%）」

これらの6項目のうち4つはゴミに関するものであり、ゴミ出しのマナーや資源物の分別排出等は、国民の間で定着しているものと判断される。また、A以外のゴミに関する項目の実行率は以下のとおりである。この結果より、過半数の人は物を長く使ったりすることによりゴミを出さないようにしているが、使い捨て商品の使用や過剰包装の抑制については、まだ意識が浸透していないものと考えられる。

#### B. その他ゴミに関する項目

- ・ 「物は修理して長く使うようにしている」（58%）」
- ・ 「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」（53%）」
- ・ 「使い捨て商品はなるべく買わないようにしている」（38%）」
- ・ 「買い物時、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」（32%）」

日常生活における節電・節水に関する項目の実行率は以下のとおりであり、過半数の人が節電・節水に心がけていることが示される。なお、これらの項目のほとんどはAに次いで実行率が高い。

### C. 節電・節水に関する項目

- ・ 「冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節電に心がけている」(69%)
- ・ 「日常の生活で節電に気をつけている」(69%)
- ・ 「日常の生活で節水に気をつけている」(62%)
- ・ 「省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している」(53%)

また、実行率が30%未満の項目は以下のとおりであり、これらはいずれも「地域」や「集団」における環境保全行動である。

### D. 実行率が30%未満の項目

- ・ 「不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルに回している」(25%)
- ・ 「地域の美化活動に参加している」(18%)
- ・ 「国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している」(17%)
- ・ 「環境に対して良いと思うことを人に勧めたり、広めたりしている」(15%)
- ・ 「地域のリサイクル活動に参加している」(16%)
- ・ 「地域の緑化活動に参加している」(11%)

以上の結果より、環境保全行動については、ゴミ出しや節電・節水等「個人」で対応できる行動の実行率は高いが、「地域」や「国・自治体」主導による行動は実行率が低いことが示される。しかし、「環境保全活動に参加したことがある」(52%)「金銭や物品の寄付をしたことがある」(23%)という民間団体の活動参加や支援を通じて地球環境保全に取り組もうという行動の実行率はかなり高い水準にある。なお、前回調査に比較して比較的大きく低下した項目は以下のとおりである。

- 「再生紙などのリサイクル商品を購入している」(45% 41%)
- 「余暇には、自然とふれあうよう心がけている」(40% 35%)

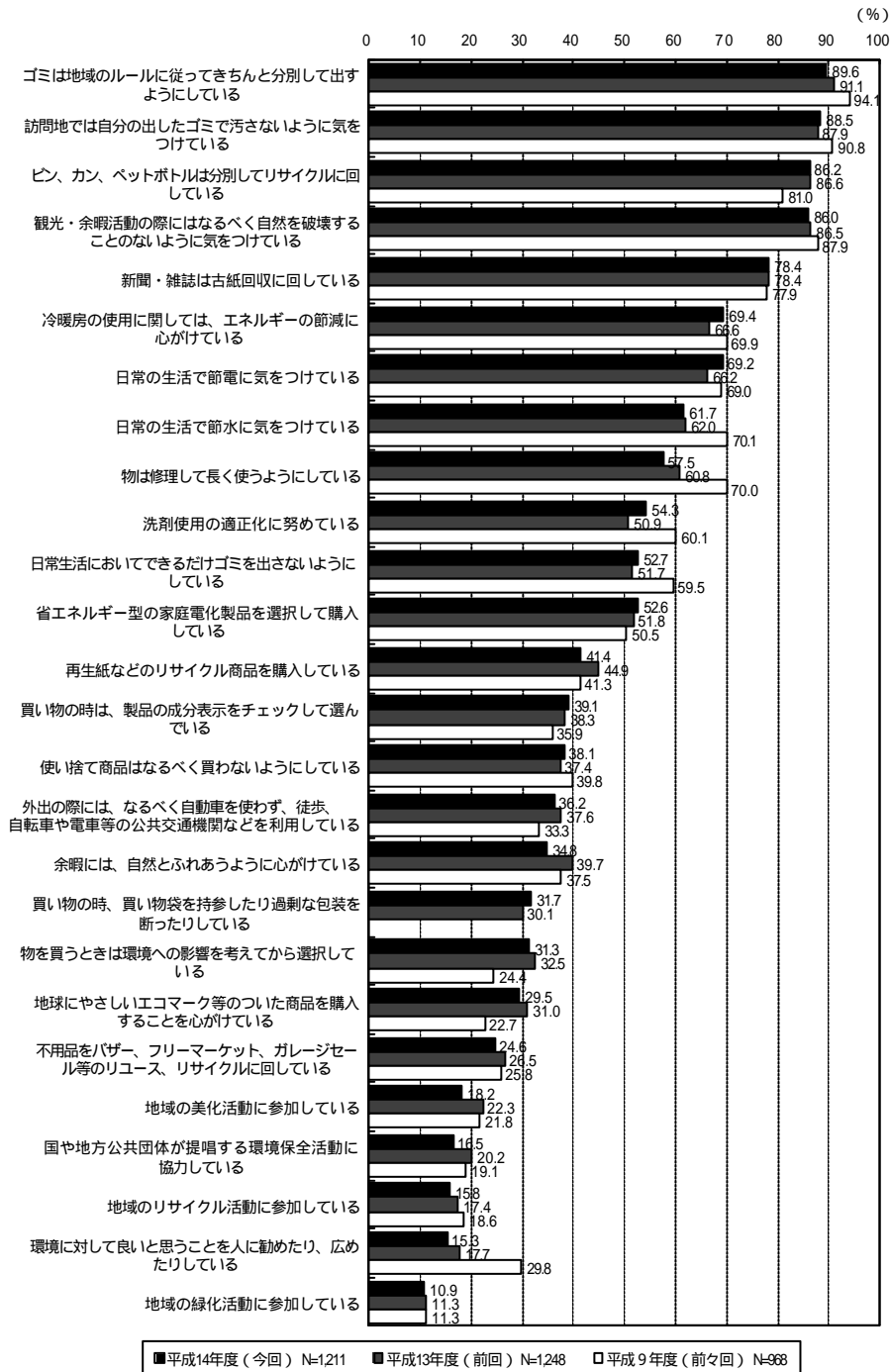
【図表 4-2-1】環境保全行動の実態（全体）

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	N	加重平均		
ゴミは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにしている	73.0				16.6	6.8	2,607	9.4		
訪問地では自分の出したゴミで汚さないように気をつけている	52.2			36.3	5.2	5.0	1,201	8.9		
ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している	71.3			14.9	4.8	6.6	1,608	9.2		
観光・余暇活動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている	46.8			39.2	5.1	7.5	1,201	8.8		
新聞・雑誌は古紙回収に回している				16.4	7.1	5.1	7.3	20	1,211	8.6
冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている	30.4		39.0		18.5	4.5	7.1	0.5	1,211	7.7
日常生活で節電に気をつけている	28.7		40.5		19.1	5.0	5.9	0.9	1,211	7.6
日常生活で節水に気をつけている	25.4		36.3		21.1	7.7	8.3	1.2	1,211	7.3
物は修理して長く使うようにしている	20.4		37.1		25.5	8.3	7.9	0.8	1,211	7.0
洗剤使用の適正化に努めている	18.8		35.5		22.9	13.2	17.8		1,211	6.7
日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている		37.3		26.9		11.8	9.7		1,211	6.6
省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している	20.1		32.5		26.3	10.2	18.8		1,211	6.7
再生紙などのリサイクル商品を購入している	14.4		27.0		36.7	11.9	14.7		1,211	6.2
買い物の時は、製品の成分表示をチェックして選んでいる	14.8		24.3		27.3	21.6	5.5	6.5	1,211	5.6
使い捨て商品はなるべく買わないようにしている	8.6		29.5		32.0	19.5	30.7	4.4	1,211	5.6
外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩、自転車や電車等の公共交通機関などを利用している	17.6		18.6		22.0	26.0	8.7	7.1	1,211	5.2
余暇には、自然とふれあうように心がけている	14.8		20.0		37.2	16.8	21.9		1,211	5.8
買い物の時、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている	11.6		20.1		28.2	22.4	9.8	7.8	1,211	5.0
物を買うときは環境への影響を考慮してから選択している	8.3		23.0		32.5	23.7	3.7	8.8	1,211	5.2
地球にやさしいエコマーク等のついた商品を購入することを心がけている	8.4		21.1		33.2	23.9	4.9	8.5	1,211	5.1
不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルに回している		14.9		23.5		23.5	20.8	7.7	1,211	4.1
地域の美化活動に参加している	8.3		9.9		23.6	19.8	29.9	8.5	1,211	3.5
国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している	4.9		11.6		22.3	25.8	26.1	9.3	1,211	3.4
地域のリサイクル活動に参加している		9.5		20.1		24.7	31.1	8.3	1,211	3.1
環境に対して良いと思うことを人に勧めたり、広めたりしている	4.4		10.9		28.2	29.3	19.8	6.9	1,211	3.6
地域の緑化活動に参加している	4.8		6.1		17.2	25.6	37.9	8.4	1,211	2.6

■いつも行っている □だいたい行っている □ときどき行っている □あまり行っていない □全く行っていない □無回答

注) この項の加重平均は、「いつも行っている」に10点、「だいたい行っている」に8点、「ときどき行っている」に5点、「あまり行っていない」に2点、「全く行っていない」に0点を与えて算出した。

【図表 4-2-2】環境保全行動の実態（全体、時系列）  
 （「いつも行っている」「だいたい行っている」比率の合計）



注）「買い物の時、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」については、前回の調査では「買い物袋の持参」「過剰包装」に分けて質問しており、比較不可。



環境保全行動の実行率について、性別にみると、男性の方が女性よりも実行率が5%以上高い項目は存在しない。これに対し、女性の方が男性よりも実行率が10%以上高い項目を以下に示す。環境保全行動は、女性の方が積極的に実行していることが伺われる。

- 「冷暖房の使用に関してはエネルギーの節減に心がけている」
- 「日常の生活で節水に気をつけている」
- 「洗剤使用の適正化に努めている」
- 「再生紙などのリサイクル商品を購入している」
- 「買い物の際は、製品の成分表示をチェックして選んでいる」
- 「使い捨て商品はなるべく買わないようにしている」
- 「外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩、自転車や電車等の公共交通機関などを利用している」
- 「買い物時、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」
- 「地球にやさしいエコマーク等のついた商品を購入することを心がけている」

実行率が全体平均よりも10%以上高い項目を年齢別にみると、60代での「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」のみであった。また、20代では、実行率が全体平均より10%以上低いものが多い。これら以外については、ほぼ全体平均と同じ傾向を示している。

実行率が全体平均よりも10%以上高い項目を職業別にみた結果を以下に示す。

- |           |   |
|-----------|---|
| 農林漁業      | 「物は修理して長く使うようにしている」<br>「地球の美化活動に参加している」<br>「国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している」<br>「地域の緑化活動に参加している」   |
| 自由業       | 「国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している」<br>「環境に対して良いと思うことを人に勧めたり、広めたりしている」   |
| 会社役員・会社経営 | 「観光・余暇活動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている」<br>「物は修理して長く使うようにしている」  |
| 公務員       | 「外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩、自転車や電車等の公共交通機関などを利用している」<br>「物を買うときは環境への影響を考えてから選択している」<br>「地球の美化活動に参加している」<br>「国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している」<br>「環境に対して良いと思うことを人に勧めたり、広めたりしている」 |
| 専業主婦      | 「冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている」<br>「日常の生活で節電に気をつけている」<br>「日常の生活で節水に気をつけている」<br>「洗剤使用の適正化に努めている」<br>「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」  |

「省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している」  
「買い物の際は、商品の成分表示をチェックして選んでいる」  
「買い物の際、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」

無職

「国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している」

環境保全行動は、専業主婦が積極的に実行していることが伺われる。また、団体職員及び学生では、実行率が全体平均より 10%以上低いものが多い。

【図表 4-2-3】環境保全行動の実態（性別、年齢別、職業別）  
 （「いつも行っている」「だいたい行っている」比率の合計）

単位：％

	性別		年齢別							職業別											
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
ゴミは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにしている	89.6	88.2	90.8	84.6	95.4	91.5	93.5	88.4	79.6	74.4	89.9	92.7	92.0	92.9	87.7	95.0	80.0	88.8	92.3	86.9	86.1
訪問地では自分の出したゴミで汚さないように気をつけている	88.5	87.4	90.0	91.3	90.1	88.8	92.5	87.7	79.6	79.1	89.9	92.7	88.0	91.7	83.1	80.0	80.0	89.6	92.2	85.8	83.3
ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している	86.2	84.8	87.7	81.8	89.4	90.9	89.9	85.6	75.0	72.1	90.9	85.4	88.0	90.3	86.1	85.0	73.3	86.4	89.2	81.4	77.8
観光・余暇活動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている	86.0	85.0	87.5	89.4	90.7	90.9	89.5	83.4	72.4	67.5	82.9	87.8	96.0	90.9	87.7	85.0	80.0	86.4	90.1	82.0	75.0
新聞・雑誌は古紙回収に回している	78.4	77.7	79.2	71.2	78.8	81.9	82.4	79.2	70.4	67.4	79.8	78.0	72.0	80.6	80.0	70.0	86.7	75.2	82.3	77.1	77.8
冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている	69.4	64.5	74.5	62.5	70.8	63.3	71.0	74.0	69.1	55.8	62.7	63.4	72.0	67.5	61.5	60.0	60.0	71.2	80.6	72.2	66.7
日常生活で節電に気をつけている	69.2	65.9	73.1	59.7	68.9	63.9	69.7	74.7	72.4	69.7	63.7	70.7	56.0	66.2	58.4	65.0	53.3	66.4	81.5	73.2	66.6
日常生活で節水に気をつけている	61.7	55.4	67.6	50.0	64.2	54.2	63.5	68.3	60.5	53.5	58.5	58.6	48.0	56.9	50.8	65.0	60.0	64.8	74.6	63.9	55.6
物は修理して長く使うようにしている	57.5	58.4	57.4	46.1	53.7	50.0	61.2	65.8	56.6	67.5	56.6	46.4	72.0	59.5	53.9	65.0	46.7	56.0	57.8	59.0	50.0
洗剤使用の適正化に努めている	54.3	44.4	63.7	42.3	53.0	50.0	54.1	63.3	53.3	46.5	47.5	48.8	44.0	47.4	43.0	50.0	33.3	56.8	72.4	59.6	41.7
日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている	52.7	48.8	56.7	37.5	47.0	37.7	54.7	65.9	59.2	53.5	49.5	56.1	52.0	46.8	32.4	50.0	40.0	51.2	64.6	60.1	50.0
省エネルギー型家庭電化製品を選択して購入している	52.6	48.3	56.3	41.3	52.3	45.7	53.4	58.5	53.2	53.5	44.5	60.9	56.0	49.8	49.2	35.0	33.3	50.4	64.3	49.7	50.0
再生紙などのリサイクル商品を購入している	41.4	35.2	47.4	31.8	35.1	42.0	44.3	45.8	39.5	44.2	33.3	43.9	32.0	36.5	41.5	50.0	40.0	49.6	47.0	41.5	41.7
買い物の時は、製品の成分表示をチェックして選んでいる	39.1	28.9	48.5	26.9	35.1	32.4	39.4	46.5	43.5	25.6	35.3	34.2	24.0	28.4	29.2	40.0	20.0	40.0	56.0	46.4	41.7
使い捨て商品はなるべく買わないようにしている	38.1	31.0	45.6	27.8	33.1	35.2	39.4	43.7	42.1	27.9	36.4	39.1	44.0	33.2	29.3	40.0	33.3	44.8	47.5	35.5	47.3
外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩、自転車や電車の公共交通機関などを利用している	36.2	30.0	42.4	41.3	35.1	25.5	31.6	42.6	45.4	16.3	30.3	43.9	20.0	28.8	23.1	50.0	73.3	41.6	45.3	45.4	27.7
余暇には、自然とふれあうように心がけている	34.8	35.4	34.1	20.2	25.8	24.4	37.1	44.4	42.7	32.5	23.2	51.3	40.0	34.5	21.6	35.0	13.3	32.0	37.1	42.7	38.9
買い物の時、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている	31.7	22.4	40.6	23.1	37.7	28.7	28.7	37.0	32.2	27.9	36.3	26.9	16.0	23.7	26.2	25.0	20.0	38.4	43.1	30.1	38.9
物を買うときは環境への影響を考慮してから選択している	31.3	25.1	37.4	17.3	24.5	27.6	32.6	39.1	34.2	25.6	25.3	34.2	36.0	27.8	29.2	45.0	6.7	33.6	38.8	30.1	36.2
地球にやさしいエコマーク等のついた商品を購入することを心がけている	29.5	23.3	35.3	19.3	19.2	28.2	29.0	37.3	33.5	27.9	27.3	29.3	28.0	23.1	24.7	35.0	26.7	33.6	35.8	32.2	30.5
不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルに回している	24.6	22.1	27.0	17.3	29.8	27.7	22.1	22.8	28.3	20.9	24.3	24.4	24.0	25.7	16.9	20.0	6.7	28.0	28.0	21.9	27.8
地域の美化活動に参加している	18.2	17.9	18.7	9.6	15.2	16.5	18.9	20.1	24.3	37.2	12.2	26.9	20.0	14.8	23.1	30.0	-	14.4	19.4	20.8	19.4
国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している	16.5	16.6	16.6	6.7	9.2	5.9	17.3	25.4	25.0	23.2	15.1	24.4	12.0	9.7	9.3	30.0	6.7	13.6	20.7	22.9	25.0
地域のリサイクル活動に参加している	15.8	15.0	16.9	12.5	13.3	16.5	17.6	16.2	15.8	11.7	14.2	14.6	4.0	14.4	10.8	25.0	20.0	16.8	19.4	17.5	19.5
環境に対して良いと思うことを人に勧めたり、広めたりしている	15.3	14.9	16.0	7.7	7.3	9.0	15.3	22.6	23.0	23.3	14.1	34.2	12.0	10.0	9.2	35.0	-	13.6	15.9	21.3	16.7
地域の緑化活動に参加している	10.9	12.4	9.9	6.7	6.6	6.4	13.4	14.1	13.8	23.2	7.0	14.6	8.0	9.7	6.2	10.0	-	10.4	11.2	15.3	11.1

環境保全行動の実行率について、地域別にみると、概して、関東、近畿及び九州は全体より実行率が高い項目が多く、北陸、東海、中国・四国は全体より実行率が低い項目が多い。全体より実行率が5%以上高い項目を地域的にみると以下の通りである。

- 北海道・東北 「再生紙などのリサイクル商品を購入している」
- 関東 「冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている」  
「買い物の時は、製品の成分表示をチェックして選んでいる」  
「外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩、自転車や電車などの公共交通機関などを利用している」  
「地球にやさしいエコマーク等のついた商品を購入することを心がけている」  
「地域の美化活動に参加している」
- 近畿 「再生紙などのリサイクル商品を購入している」  
「物を買うときは環境への影響を考えてから選択している」
- 九州 「日常の生活での節水に気をつけている」  
「物は修理して長く使うようにしている」  
「洗剤使用の適正化に努めている」  
「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」

都市規模別にみると、都市規模が大きいほど実行率が高い項目は、

- 「日常の生活で節水に気をつけている」
- 「物は修理して長く使うようにしている」
- 「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」
- 「外出時は自動車を使わず公共交通機関等を利用している」
- 「買い物のとき、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」

などである。一方、都市規模が小さいほど実行率が高い項目は、

- 「地域のリサイクル活動に参加している」
- 「環境に対して良いことを人に勧めたり広めたりしている」

などである。都市と地方のライフスタイルの差が環境保全行動の内容にも表れている。

【図表 4-2-4】環境保全行動の実態（地域別、都市規模別）  
 （「いつも行っている」「だいたい行っている」比率の合計）

	単位 %											
	全体	地域別							都市規模別			
北海道・東北		関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村	
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
ゴミは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにしている	89.6	89.5	91.3	89.4	90.5	90.1	92.3	88.0	89.4	92.7	87.5	91.1
訪問地では自分の出したゴミで汚さないように気をつけている	88.5	89.0	90.4	86.4	86.8	90.1	90.6	91.7	87.2	93.0	86.5	90.1
ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している	86.2	86.5	89.9	84.9	88.1	85.1	83.6	84.9	86.6	88.9	83.6	87.2
観光・余暇活動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている	86.0	85.9	84.9	87.9	86.8	88.9	86.2	87.9	86.1	90.1	82.7	88.2
新聞・雑誌は古紙回収に回している	78.4	82.2	78.4	77.3	77.9	80.6	75.9	79.7	82.1	79.0	75.9	81.6
冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている	69.4	70.6	75.2	65.1	66.4	67.4	69.0	69.2	71.0	69.8	67.8	70.7
日常生活で節電に気をつけている	69.2	70.6	73.8	60.6	64.6	69.6	69.8	69.9	71.0	69.9	68.8	68.0
日常生活で節水に気をつけている	61.7	56.5	62.4	62.1	64.7	59.7	60.4	66.9	68.7	62.0	62.0	54.8
物は修理して長く使うようにしている	57.5	57.1	57.8	60.6	50.3	58.0	56.0	64.7	55.8	58.8	57.3	56.7
洗剤使用の適正化に努めている	54.3	56.5	56.9	47.0	50.3	54.2	49.1	61.6	53.7	58.2	52.4	51.9
日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている	52.7	53.4	54.5	36.3	50.9	54.7	54.3	59.4	56.4	53.8	53.3	49.5
省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している	52.6	57.0	56.9	47.0	47.9	52.5	48.2	48.9	52.5	52.4	51.7	51.9
再生紙などのリサイクル商品を購入している	41.4	46.7	41.7	28.8	36.6	47.0	36.2	44.3	39.1	42.4	41.4	42.0
買い物の時は、製品の成分表示をチェックして選んでいる	39.1	36.8	47.2	37.9	34.8	42.6	30.2	40.6	39.7	39.5	41.1	36.8
使い捨て商品はなるべく買わないようにしている	38.1	40.5	42.6	30.3	35.3	41.4	31.0	38.4	35.8	40.1	40.2	34.9
外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩、自転車や電車等の公共交通機関などを利用している	36.2	28.3	43.6	37.9	33.6	35.9	34.5	40.6	41.3	37.7	33.7	34.5
余暇には、自然とふれあうように心がけている	34.8	38.6	39.5	34.8	34.8	29.3	31.0	33.1	34.6	38.0	30.9	35.4
買い物の時、買い物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている	31.7	31.3	34.4	28.8	29.4	34.2	24.1	33.8	32.4	32.8	31.5	28.7
物を買うときは環境への影響を考えてから選択している	31.3	29.4	34.0	22.8	28.2	36.5	25.9	32.4	27.4	35.1	31.2	26.9
地球にやさしいエコマーク等のついた商品を購入することを心がけている	29.5	27.0	37.1	19.7	24.6	33.7	22.4	27.8	29.1	29.5	31.8	24.1
不用品をバザー、フリーマーケット、ガレッジセール等のリユース、リサイクルに回している	24.6	25.2	26.2	21.2	29.4	26.0	19.8	19.6	25.2	23.4	22.5	29.2
地域の美化活動に参加している	18.2	14.1	22.5	28.8	17.4	13.2	17.2	15.8	14.5	19.6	15.4	20.8
国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力している	16.5	14.1	16.9	18.2	16.2	15.5	20.7	18.1	10.0	18.7	15.7	20.8
地域のリサイクル活動に参加している	15.8	15.3	15.1	12.1	15.6	16.0	14.6	18.0	12.8	14.3	16.8	17.9
環境に対して良いと思うことを人に勧めたり、広めたりしている	15.3	12.3	17.4	22.8	13.2	17.7	15.5	15.8	12.9	16.4	16.4	17.0
地域の緑化活動に参加している	10.9	6.2	11.9	13.7	11.4	11.1	8.6	12.0	11.1	9.7	8.1	15.1

#### 4-2-2 将来の実施意向

現在環境保全行動を行っていない人は、将来において実施の意向を示した人が多い。しかし、意向率はほとんどの項目で前回の調査を下回っている。  
また、「個人」で対応できる項目の意向率は高いが、「地域」や「集団」での対応が必要な項目の意向率は低い。

現在行っていない（「あまり行っていない」又は「全く行っていない」）環境保全行動について、将来の実施の意向を尋ねたところ、全 26 項目中、過半数の人が「今後はもっと行いたいと思う」と回答した項目は 16 項目にのぼった。

このうち、意向率（「今後はもっと行いたいと思う」と回答した比率）が 60%以上と高いグループは以下のとおりである。

##### 意向率 60%以上の項目

- ・ 「日常生活で節電に気をつけている」(68%)
- ・ 「省エネルギー型の家庭電化製品を選択して購入している」(65%)
- ・ 「冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている」(62%)
- ・ 「訪問地では自分の出たゴミで汚されないように気をつけている」(60%)

上記に続く意向率 50%台の第 2 グループは以下のとおり。

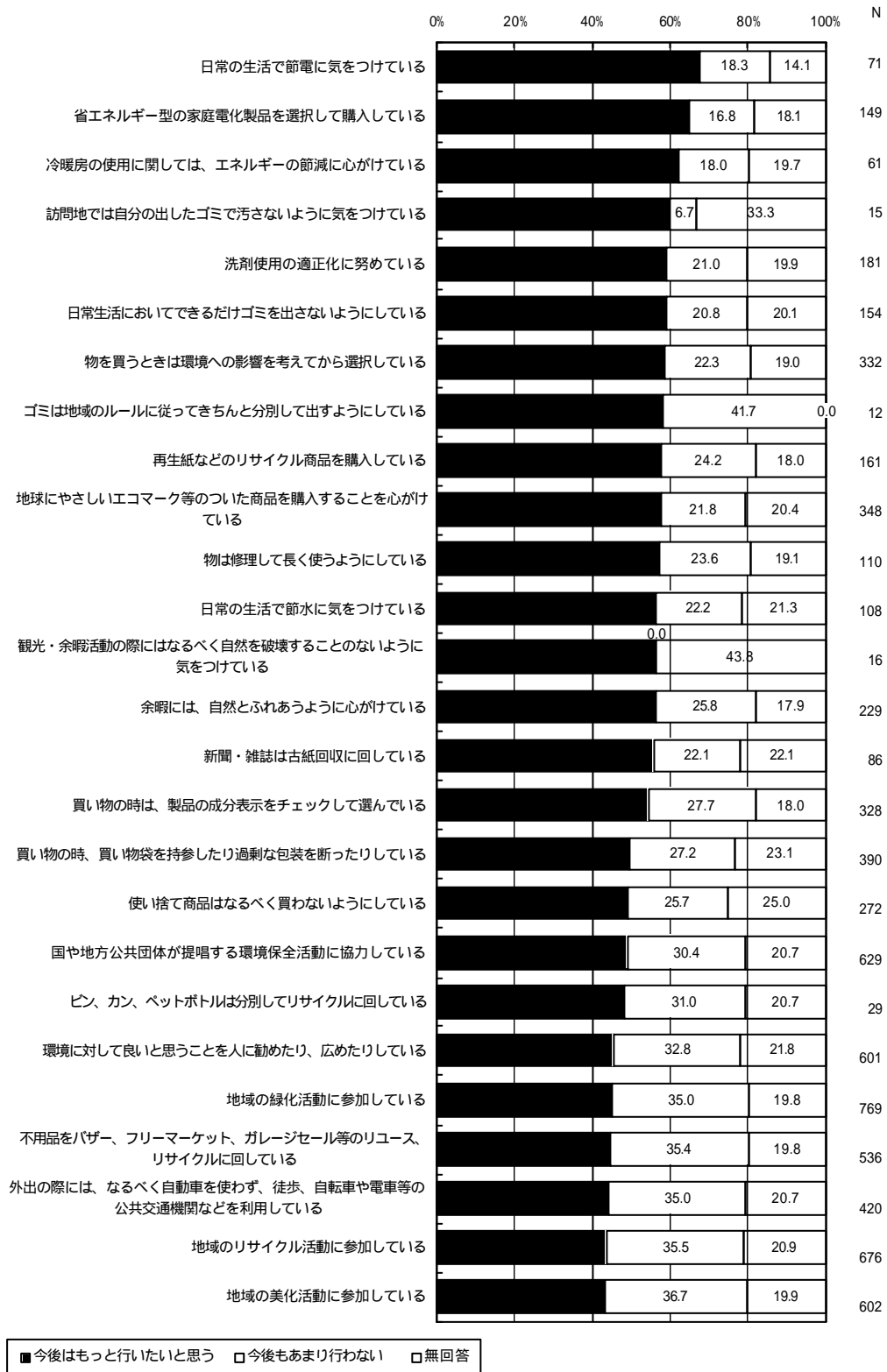
- ・ 「洗剤使用の適正化に努めている」(59%)
- ・ 「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」(59%)
- ・ 「物を買うときは環境への影響を考えてから選択している」(59%)
- ・ 「ゴミは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにしている」(58%)
- ・ 「再生紙などリサイクル商品を購入している」(58%)
- ・ 「地球にやさしいエコマーク等のついた商品を購入することを心がけている」(58%)
- ・ 「物は修理して長く使うようにしている」(57%)
- ・ 「日常生活で節水に気をつけている」(57%)
- ・ 「観光・余暇行動の際にはなるべく自然を破壊することのないように気をつけている」(56%)
- ・ 「余暇には、自然とふれあうように心がけている」(56%)
- ・ 「新聞・雑誌は古紙回収に回している」(56%)
- ・ 「買物の時は、製品の成分表示をチェックして選んでいる」(54%)
- ・ 「買物の時、買物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」(50%)

前回の調査と比較すると、ほとんどの項目の意向率が低下していた。意向率の低下が顕著な項目は以下のとおりである。

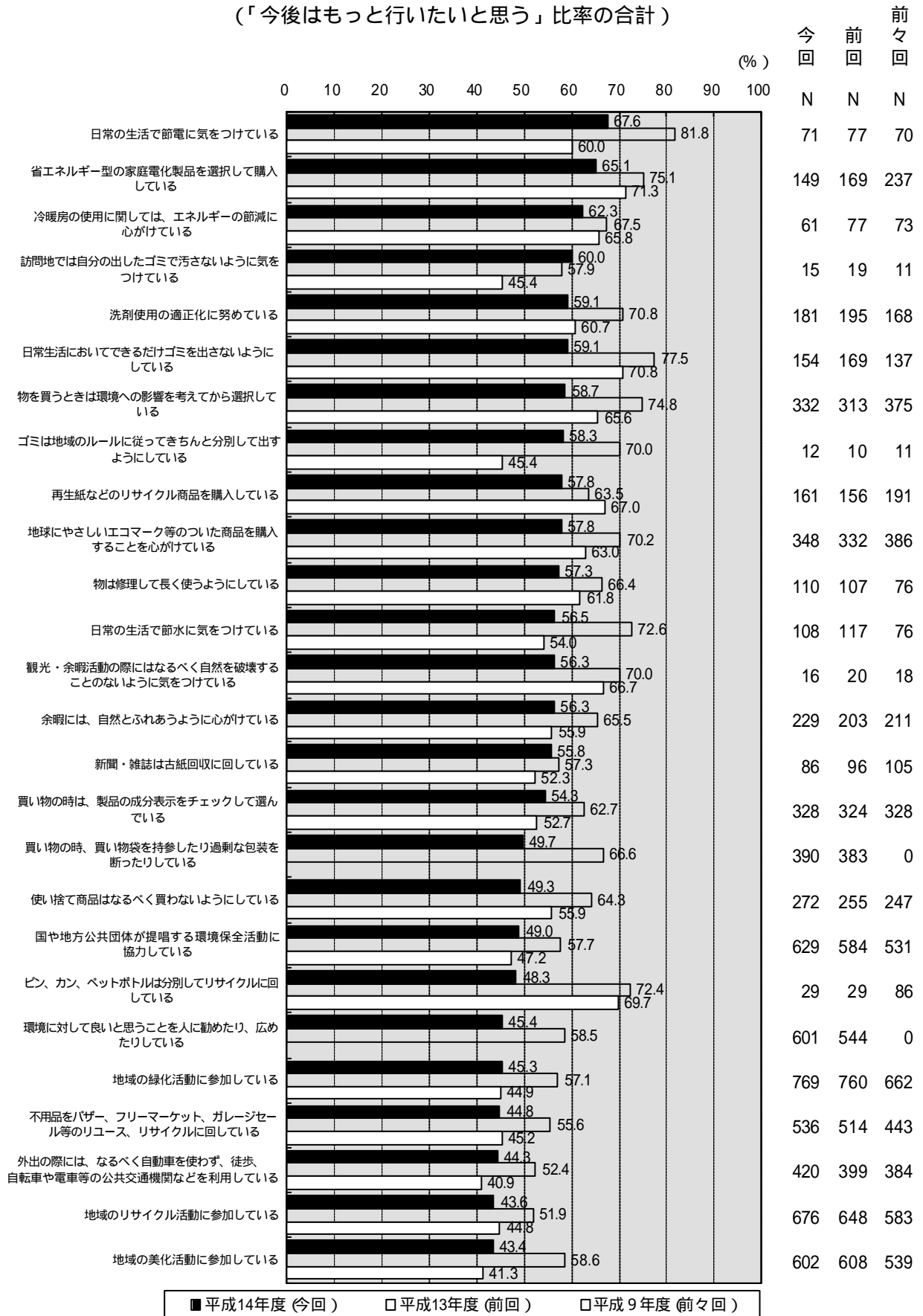
##### 意向率の低下が顕著な項目

- ・ 「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」(72% 48% : 24 ポイント減)
- ・ 「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」(78% 59% : 19 ポイント減)
- ・ 「買物の時、買物袋を持参したり過剰な包装を断ったりしている」(67% 50% : 17 ポイント減)
- ・ 「物を買うときは環境への影響を考えてから選択している」(75% 59% : 16 ポイント減)

【図表 4-2-5】環境保全行動の今後の意向（全体）



【図表 4-2-6】環境保全行動の今後の意向（全体、時系列）  
 （「今後はもっと行いたいと思う」比率の合計）





## 4 - 3 住宅に関する環境保全行動

### 4-3-1 太陽熱温水器、太陽光発電の利用状況

太陽熱温水器、太陽光発電の現在の利用率は低く、また、これに将来における利用を希望する人を合わせても過半数に達しない。しかし、前回の調査と比較して、太陽熱温水器、太陽光発電を肯定的に考えている人が増えているものと判断される。

#### (1) 太陽熱温水器

太陽熱温水器の利用状況については、現在「利用している」は11%に過ぎない。また、これに「利用していないが、将来は利用したい」(22%)を加味しても過半数に達しない。

前回の調査と比較すると、「利用している」が増加したが、「利用していないが、将来は利用したい」は減少したため、両者の和は前回よりも微減している。

性別による差はほとんどない。

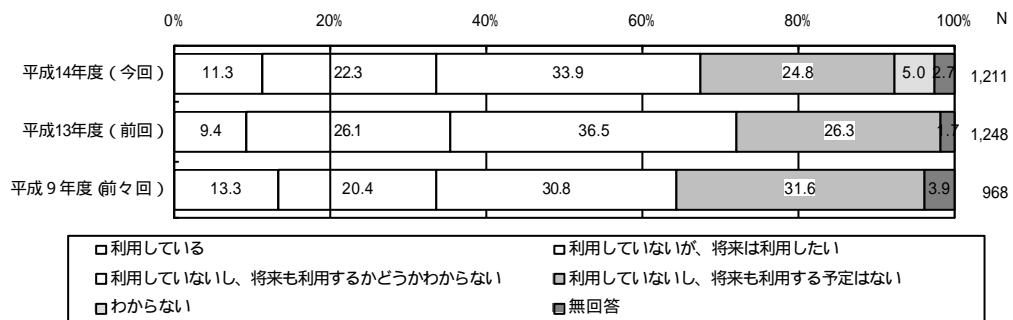
年齢別にみると、「利用している」は高齢者ほど増加する傾向にある。また、「利用していないし、将来も利用するかどうか分からない」は20代(43%)で特に多くなっている。

職業別にみると、「利用している」は農林漁業(35%)で顕著に高い。また、「利用していないが、将来は利用したい」が団体職員(40%)、「利用していないし、将来も利用するかどうか分からない」が学生(53%)で顕著に高い。

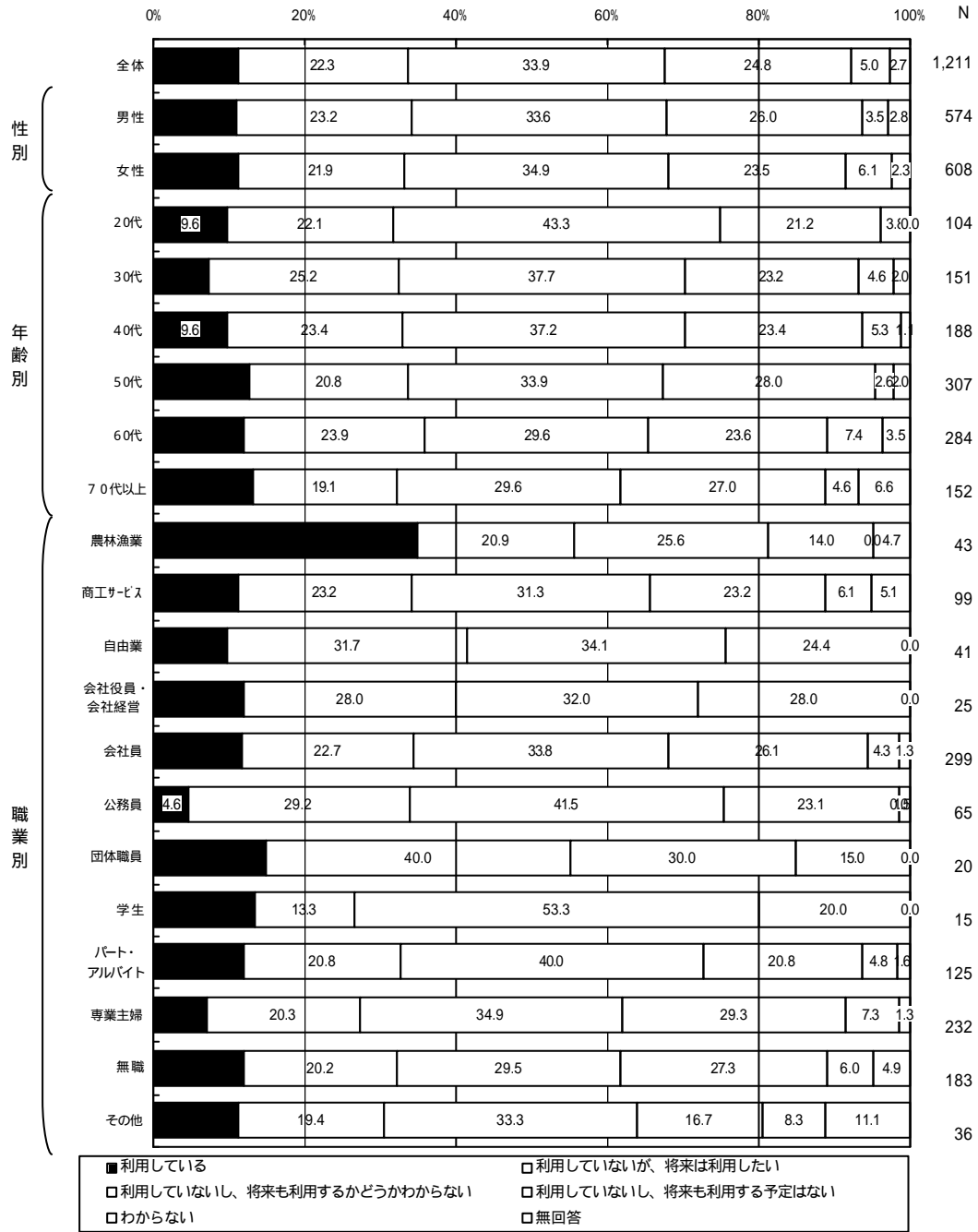
地域別にみると、「利用している」は北海道・東北、近畿が8%程度であるのに対し、東海は15%と普及している。また、「利用していないが、将来は利用したい」は北海道が27%で最も高い。

都市規模別にみると、政令指定都市での利用率は8%、町村では14%と、都市規模が小さいほど普及している。

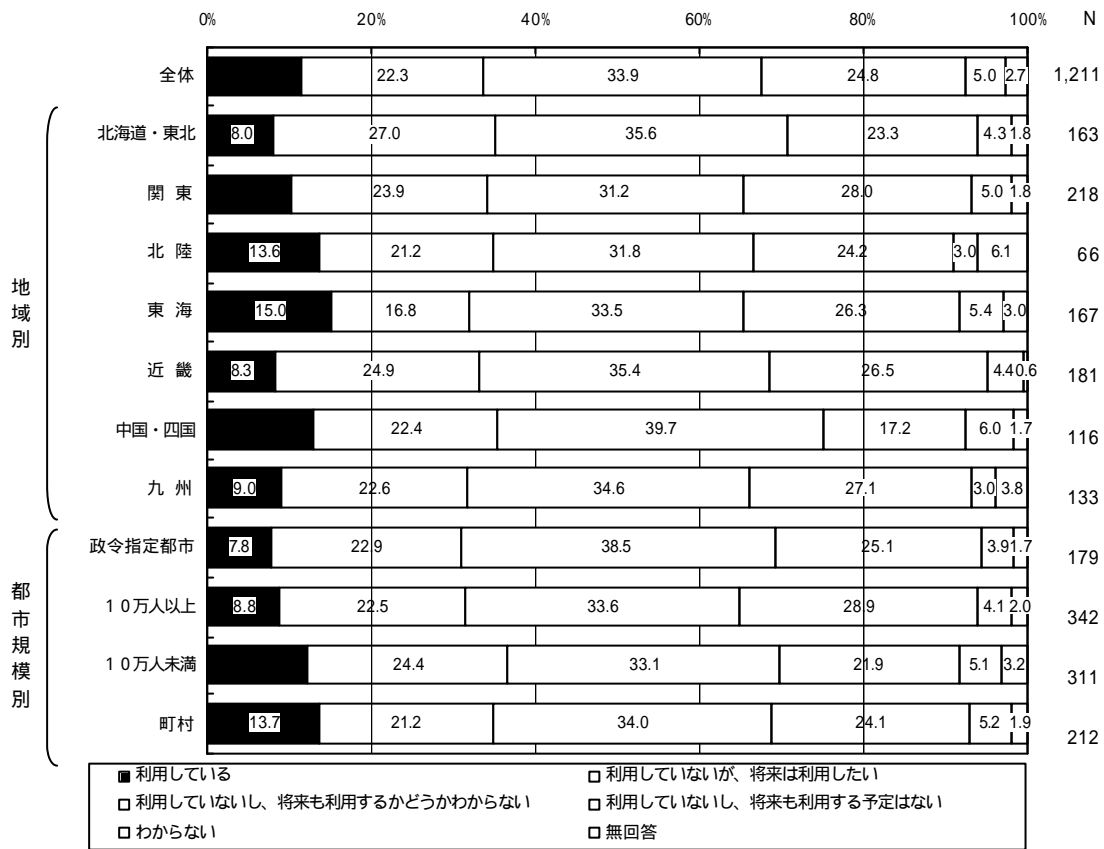
【図表 4-3-1】太陽熱温水器の利用状況（全体、時系列）



【図表 4-3-2】太陽熱温水器の利用状況（性別、年齢別、職業別）



【図表 4-3-3】太陽熱温水器の利用状況（地域別、都市規模別）



(2) 太陽光発電

太陽光発電を、現在「利用している」は1%である。また、これに「利用していないが、将来は利用したい」(28%)を加味しても3割弱に過ぎない。

前回の調査と比較すると、「利用している」は横這いで、「利用していないが、将来は利用したい」は微増。また、「利用していないし、将来も利用する予定はない」(23%)は減少し続けていることから、太陽光発電を肯定的に考えている人が増えているものと判断される。

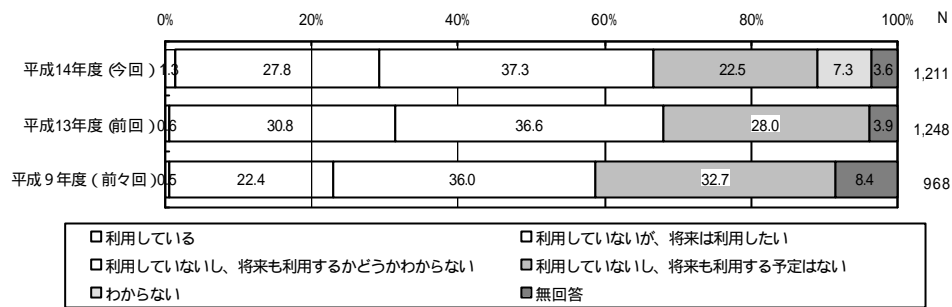
性別にみると、「利用していないが、将来は利用したい」は男性の方がやや多い。

年齢別にみると、「利用している」は年代に関わらず少ない。また、「利用していないが、将来は利用したい」は高齢層、特に70代以上で低い。

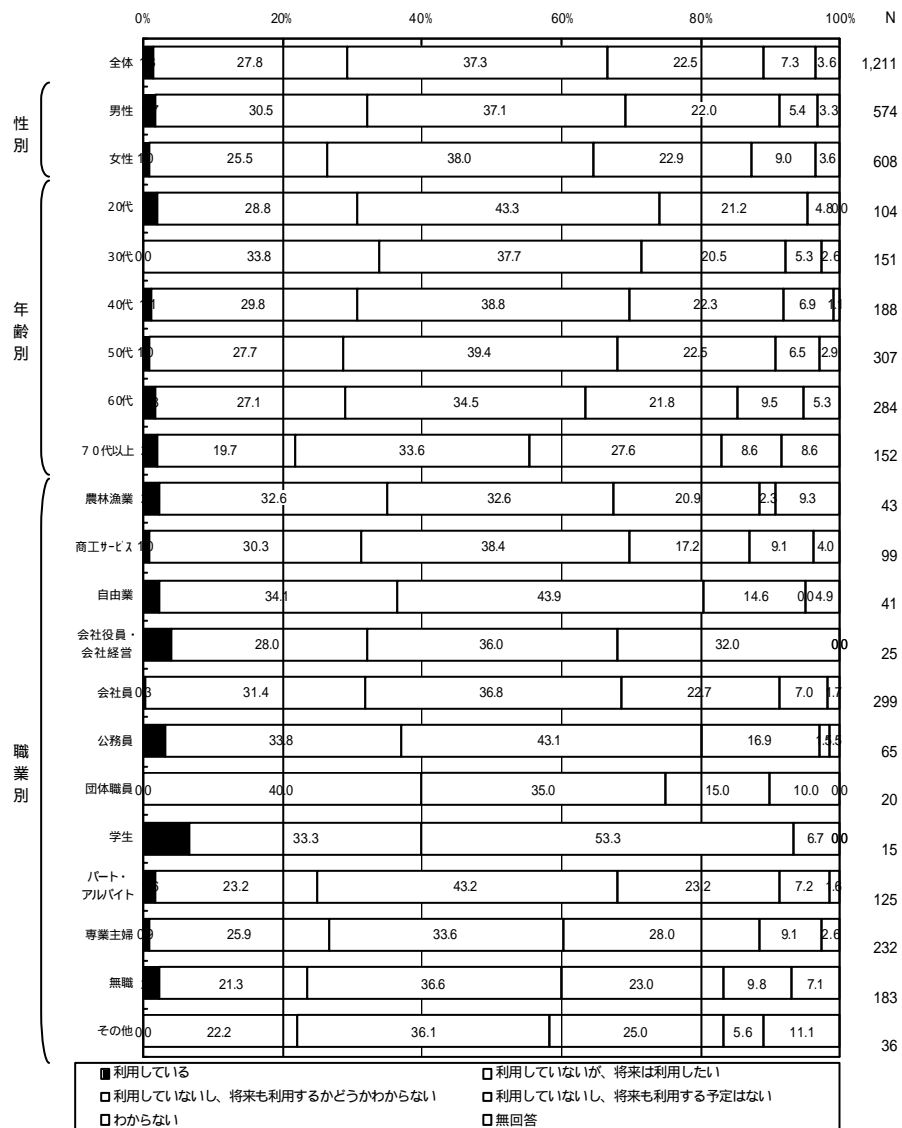
職業別にみると、「利用している」は学生で7%、会社役員・会社経営で4%、公務員で3%を示す。また、「利用していないが、将来は利用したい」が団体職員(40%)、「利用していないし、将来も利用するかどうか分からない」が学生(53%)で顕著に高い。

地域別、都市規模別には、「利用している」「利用していないが、将来は利用したい」ともに差はない。

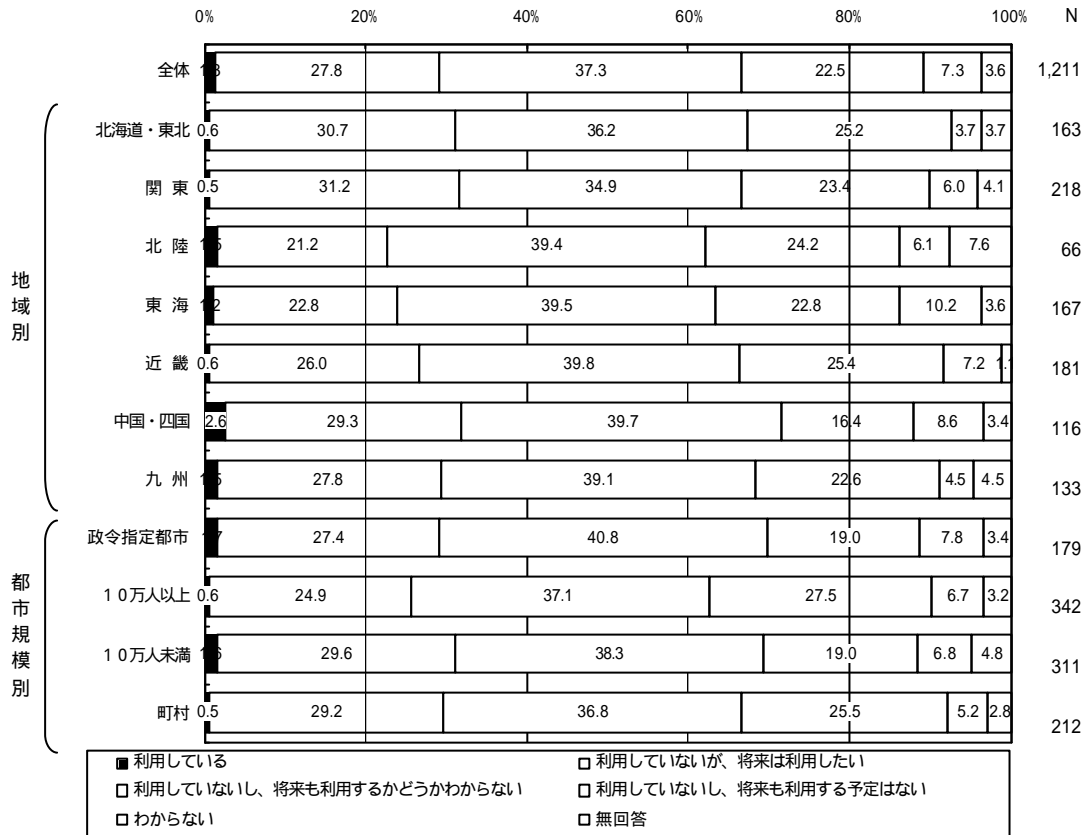
【図表 4-3-4】太陽光発電の利用状況（全体、時系列）



【図表 4-3-5】太陽光発電の利用状況（性別、年齢別、職業別）



【図表 4-3-6】太陽光発電の利用状況（地域別、都市規模別）



#### 4-3-2 住宅の構造

省エネ等の効果が高い高気密・高断熱住宅の現在の普及率は低く、また、これに将来において希望する人を合わせても過半数に達しない。しかし、将来において高気密・高断熱住宅にする予定がない人は14%に過ぎず、多くの人は中立的な立場を示しているため、今後の啓発等が大切と判断される。

住宅の構造として、現在「高気密・高断熱住宅である」は18%である。また、これに「現在は高気密・高断熱住宅ではないが、将来はそうしたい」(17%)を加味しても過半数に達しない。しかし、「現在は高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうする予定はない」は14%に過ぎず、多くの人は「現在は高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうするかわからない」(27%)、「わからない」(20%)としており、今後の啓発等により、希望者の比率は変わることが予測される。

性別にみると、現在「高気密・高断熱住宅である」は男女いずれも2割弱であるが、「現在は高気密・高断熱住宅ではないが、将来はそうしたい」は男性(20%)の方が多い。

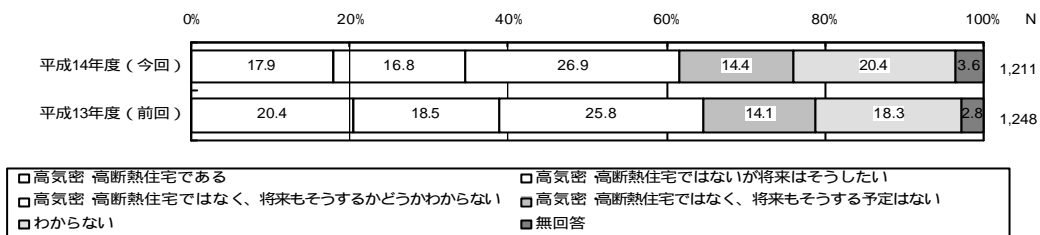
年齢別にみると、現在「高気密・高断熱住宅である」は40代が21%で最も多く、その前後の年代でも比較的多い。また、「現在は高気密・高断熱住宅ではないが、将来はそうしたい」は40代(22%)でやや多い。また、「高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうする予定はない」は70歳以上(26%)で高く、「高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうするかわからない」は40代(32%)、「わからない」は20代・30代(ともに33%)の若年層で高い。

職業別にみると、それぞれの選択肢の比率は業種により大きく異なるが、現在「高気密・高断熱住宅である」は公務員、学生、専業主婦で24~26%と高い。このうち、公務員は現在「高気密・高断熱住宅である」に「現在は高気密・高断熱住宅ではないが、将来はそうしたい」を加えるとほぼ半数に達している。これらに対し、「高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうするかどうかわからない」は団体職員(35%)、「高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうする予定はない」は無職(23%)で高い。

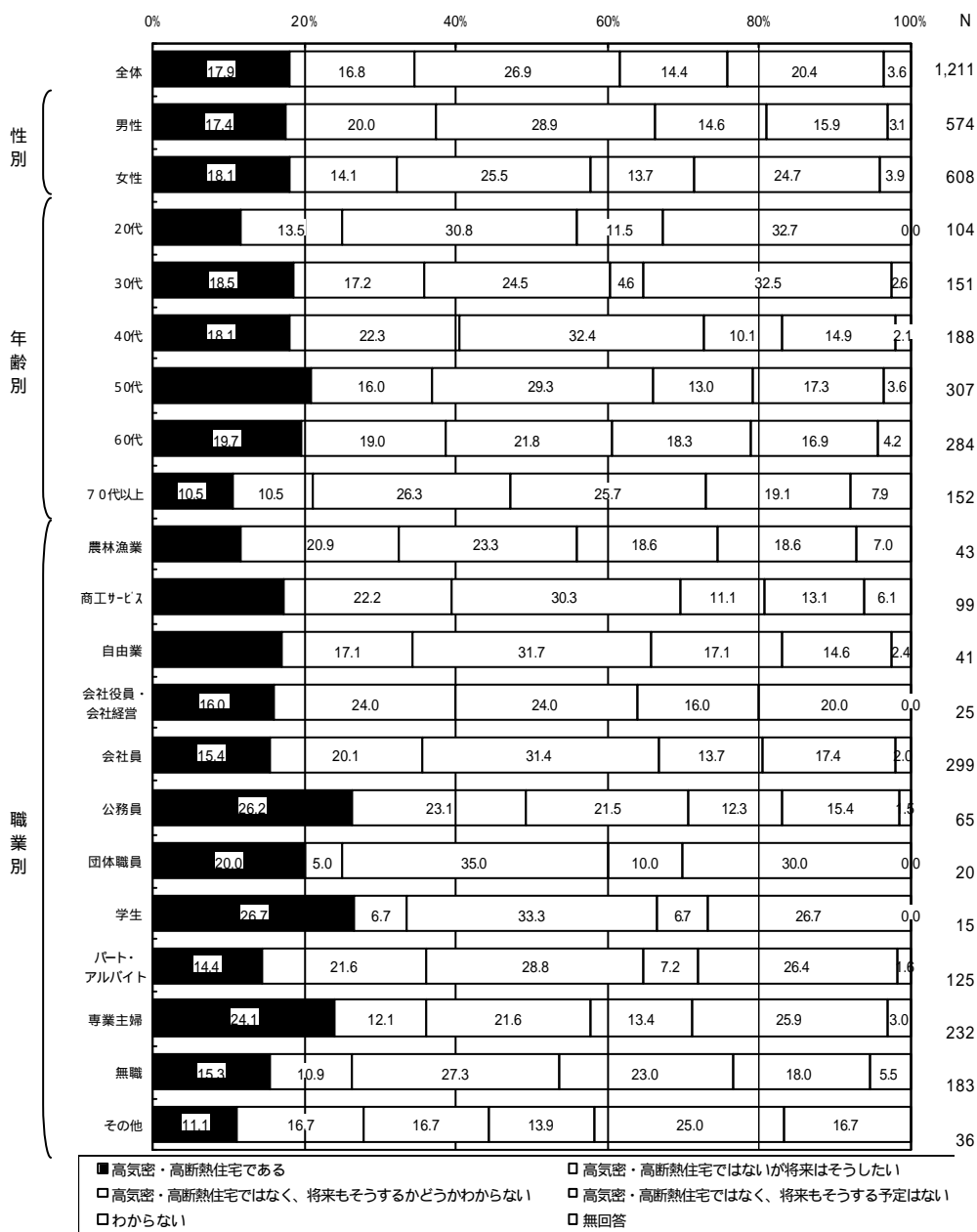
地域別にみると、現在「高気密・高断熱住宅である」に「現在は高気密・高断熱住宅ではないが、将来はそうしたい」を加えた割合は、中国・四国で43%と高い。

都市規模別には顕著な特徴がみられない。

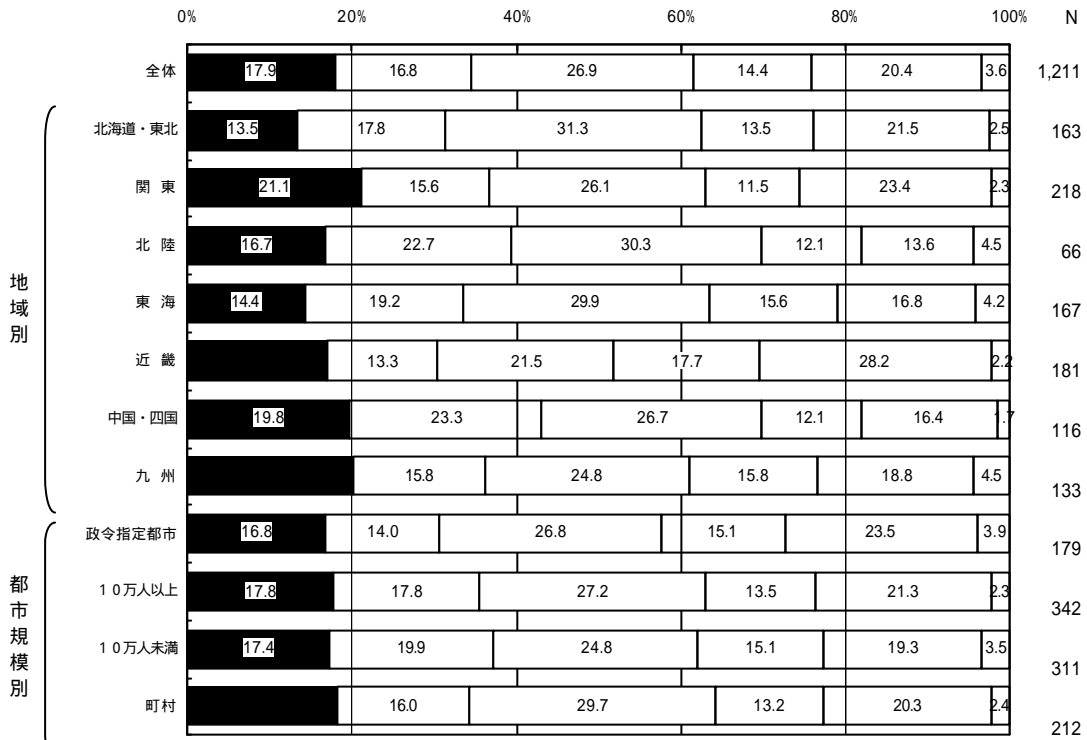
【図表 4-3-7】住宅の構造（全体）



【図表 4-3-8】住宅の構造（性別、年齢別、職業別）



【図表 4-3-9】住宅の構造（地域別、都市規模別）



- 高気密・高断熱住宅である
- 高気密・高断熱住宅ではないが将来はそうしたい
- 高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうするかどうかわからない
- 高気密・高断熱住宅ではなく、将来もそうする予定はない
- わからない
- 無回答



## 4 - 4 自動車に関する環境保全行動

### 4-4-1 自動車の運転について

自動車を運転する人は約 74%であるが、このうち運転の際に不要なアイドリング等をしないようにしている人は 93%である。

#### (1) 自動車を運転するか

今回の調査の対象者の中で、自動車を「運転する」と回答した人は 74%であり、前回の調査よりも 12 ポイント増加した。

性別にみると、自動車を「運転する」人は、男性では 87%であるのに対し、女性では 61%となっている。

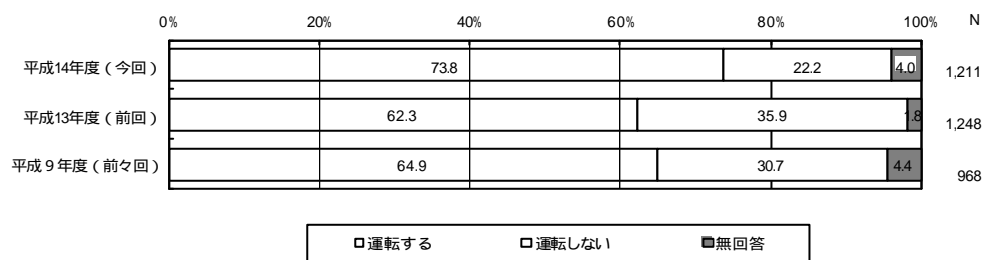
年齢別にみると、自動車を「運転する」人は、40 代が 88%で最も多く、この年代を中心に多いが、年代が上がるとともに低くなり、特に 70 代以上では、51%に低下する。

職業別にみると、自動車を「運転する」人の比率が全体平均よりも低いものは、「専業主婦」(54%)「無職」(63%)「学生」(67%)「パート・アルバイト」(69%)であり、いずれも「運転する」人の比率が 70%に達していない。

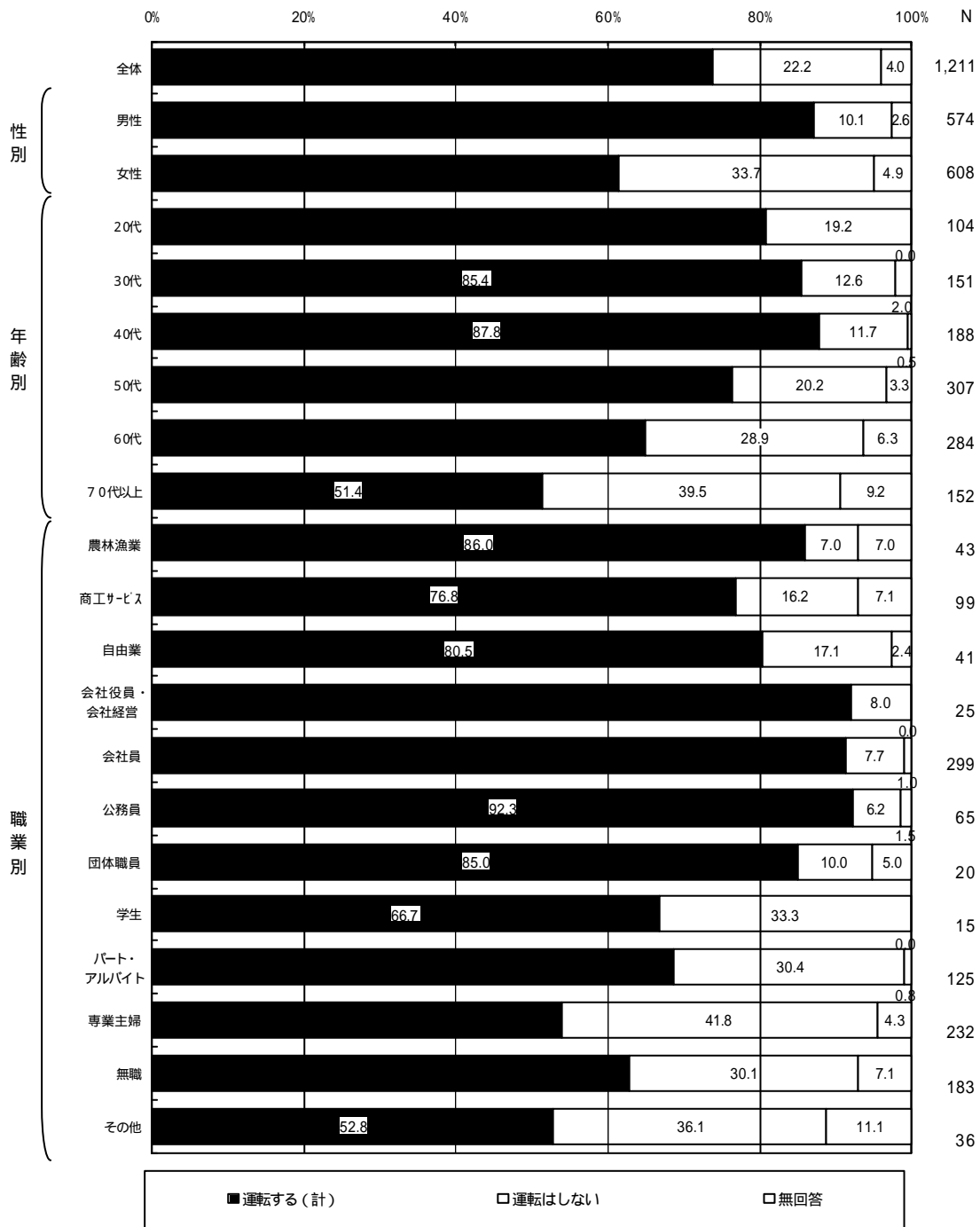
地域別にみると、自動車を「運転する」人の比率が全体平均よりも低いのは、「関東」(72%)「北陸」(70%)「九州」(73%)であった。

都市規模別では、自動車を「運転する」人の比率がもっとも低いのが 10 万人未満の都市 (72%) で、最も高いのが町村部 (77%) であった。

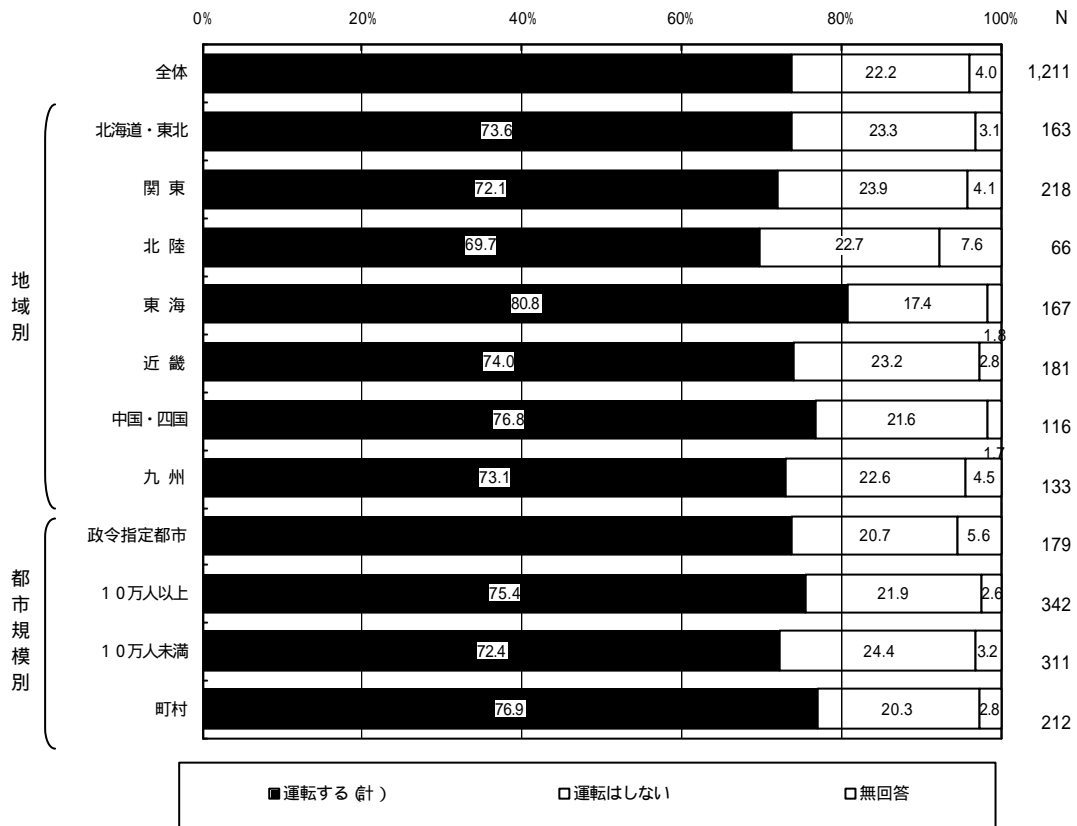
【図表 4-4-1】自動車の運転について (全体、時系列)



【図表 4-4-2】自動車の運転について（性別、年齢別、職業別）



【図表 4-4-3】自動車の運転について（地域別、都市規模別）



(2) 運転の際に不要なアイドリング等をしないようにしているか

自動車を「運転する」人のうち、運転の際に不要なアイドリング等をしないようにしている実行率（「いつも行っている」「だいたい行っている」の合計）は93%にのぼった。

性別にみると、実行率は男性では92%であるのに対し、女性では94%と若干高い。

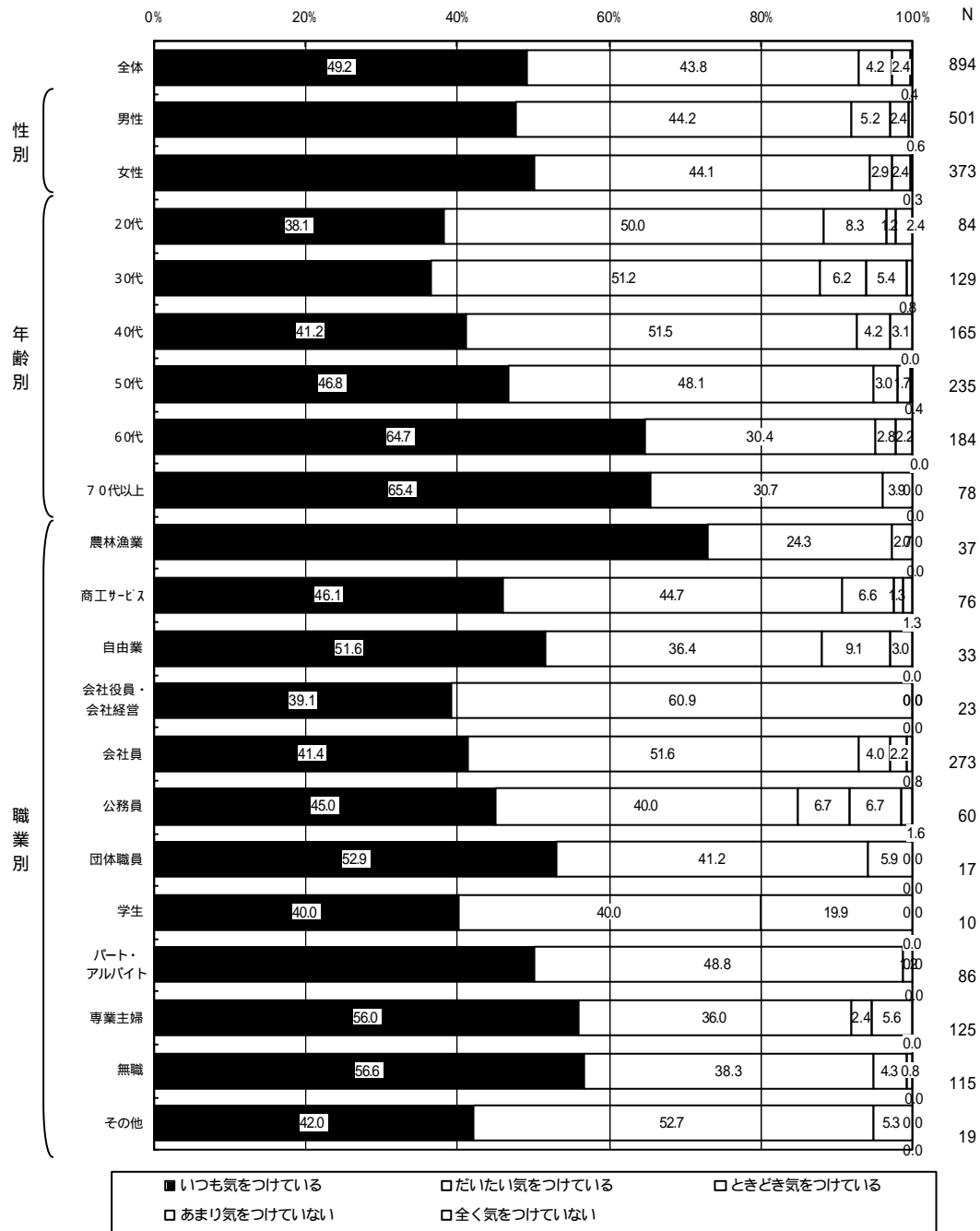
年齢別にみると、実行率は概ね高齢者ほど増加する傾向にあり70代以上では96%にのぼる。

職業別にみると、実行率は会社役員・会社経営で100%、パート・アルバイトで99%に達する。なお、実行率がもっとも低いものは学生で、その実行率は80%にとどまる。

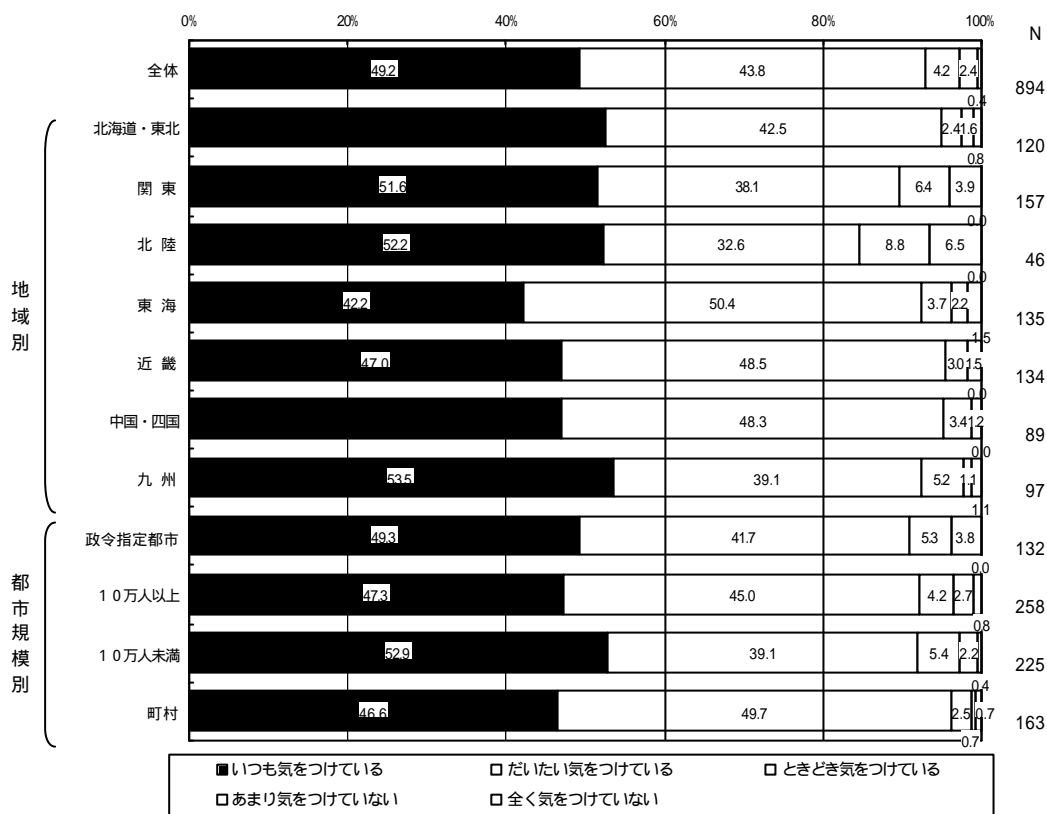
地域別にみると、実行率は北陸（85%）でやや低いが、その他の地域はいずれも90%を超えている。

都市規模別には、顕著な違いはない。

【図表 4-4-4】 不要なアイドリング等をしないようにしているか（性別、年齢別、職業別）



【図表 4-4-5】 不要なアイドリング等をしないようにしているか（地域別、都市規模別）



#### 4-4-2 低公害車の購入について

低公害車の所有率は前回の調査よりも6ポイント増の13ポイントに伸び、購入を検討している人も3分の1を占める。

近年、『環境にやさしい自動車』として電気自動車、メタノール自動車、天然ガス自動車及びハイブリッド自動車などの「低公害車」や、ガソリン自動車やLPガス自動車等の排出ガス性能が改善された「低排出ガス車」が販売されるようになった。このような低公害車・低排出ガス車について尋ねたところ、「既にそのような自動車を購入した。または、発注済みである」が13%、「自動車購入の際には、検討の対象に入れようと思っている」は32%であった。また、「興味はあるが、購入の検討対象にまでは至らない」が29%であり、『環境にやさしい自動車』に何らかの興味を抱いている人（購入済・購入検討・興味有り）は7割を超えている。

前回の調査と比べると「既にそのような自動車を購入した」が6ポイント上昇し、「購入の際には検討の対象に入れようと思っている」も引き続き高い比率を占めている。

性別にみると、「既にそのような自動車を購入した。または、発注済みである」では、差はみられないが、「自動車購入の際には、検討の対象に入れようと思っている」は男性が36%で女性よりも多い。

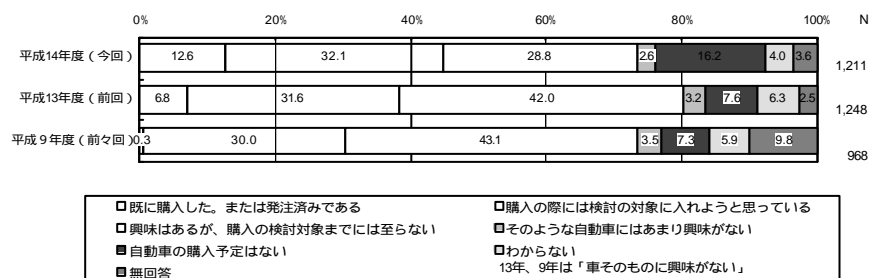
年齢別にみると、「既にそのような自動車を購入した。または、発注済みである」は、30代が17%で最も多い。また、「自動車購入の際には、検討の対象に入れようと思っている」は50代が37%で最も多く、これに30代（35%）が続く。

職業別にみると、「既にそのような自動車を購入した。または、発注済みである」は、自由業（15%）、公務員、無職（ともに14%）でやや高い。また、商工サービス、団体職員で「自動車購入の際には、検討の対象に入れようと思っている」の比率が高い（46%、45%）。

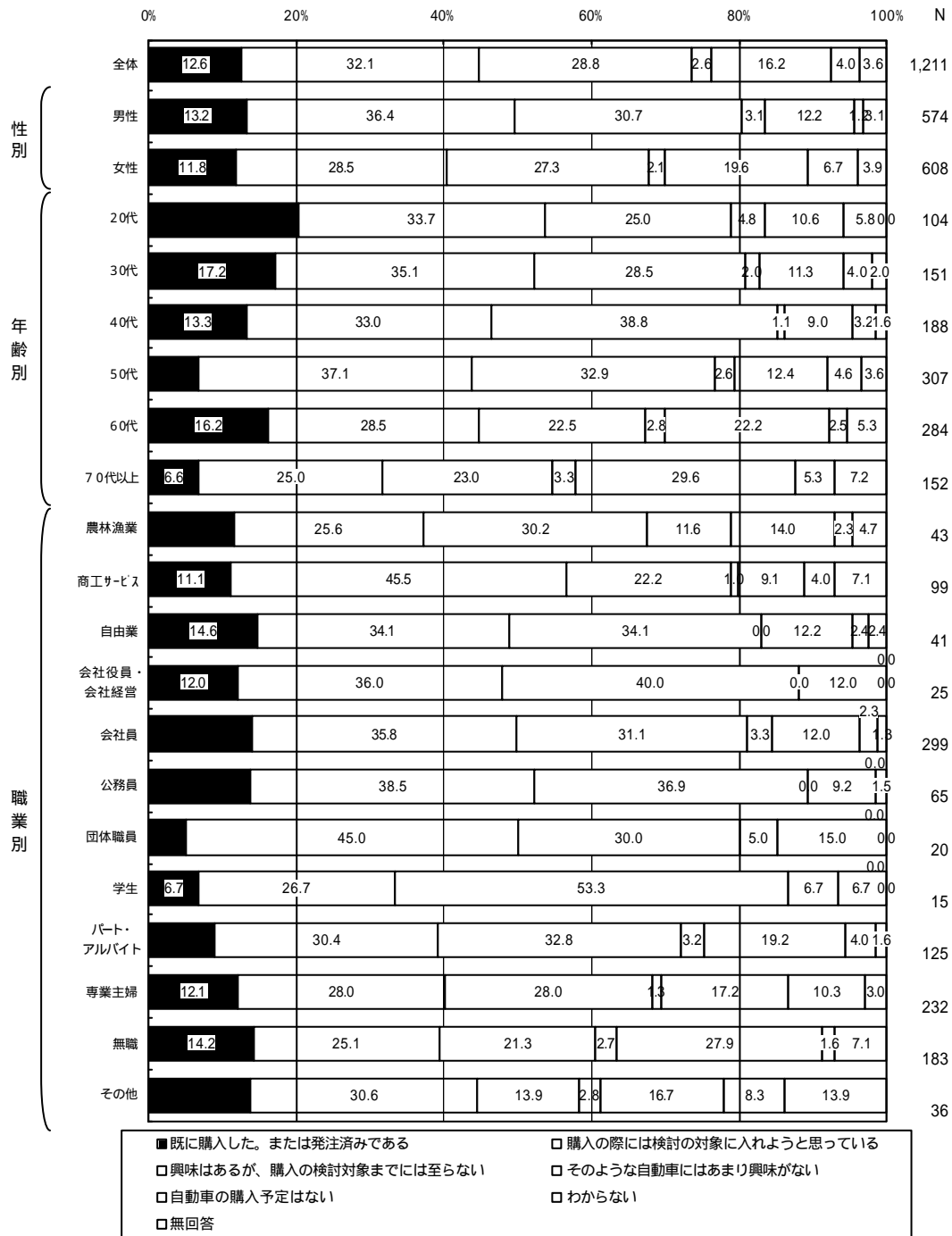
地域別にみると、「既にそのような自動車を購入した。または、発注済みである」の比率は東海が16%で最も高く、「自動車購入の際には、検討の対象に入れようと思っている」は近畿が37%で最も高い。

都市規模別にみると、「既にそのような自動車を購入した。または、発注済みである」の比率が町村部で8%とやや低い。

【図表 4-4-6】低公害車の購入について（全体、時系列）



【図表 4-4-7】低公害車の購入について（性別、年齢別、職業別）



【図表 4-4-8】低公害車の購入について（地域別、都市規模別）

